

## キリンビバレッジ湘南工場で リサイクルレジンを<sup>※1</sup>を100%使ったペットボトルのプリフォーム<sup>※2</sup>製造を開始 ～「R100 ペットボトル」<sup>※3</sup>を使用した商品展開を拡大～

キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留）は、キリンビバレッジ湘南工場（工場長 松田明彦）で、リサイクルレジンを100%使ったペットボトルのプリフォームの製造を3月上旬より開始します。

※1 使用済みのペットボトルを粉碎・洗浄して造られたPET容器の原料となる樹脂

※2 膨らませる前のペットボトルの原型。試験管のような形をしている

※3 再生PET樹脂を100%使用したペットボトル

### 1. 背景

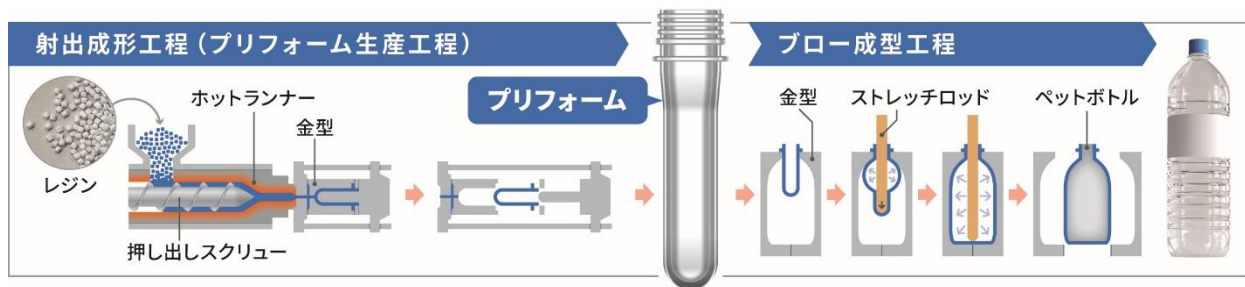
現在、湘南工場では、バージンレジンを<sup>※4</sup>使ったプリフォームの製造はしていますが、リサイクルレジンを100%使ったプリフォームは外部調達しています。当社では商品の一部で「R100 ペットボトル」の使用を開始し、今後さらに拡大していく計画です。しかしながら、リサイクルレジンを100%使ったプリフォームを安定的に外部から調達するには限りがあるため、「R100 ペットボトル」を使った商品をさらに拡大していくためには、自社でリサイクルレジンを100%使ったプリフォームを製造し、供給量を増やす必要がありました。

※4 石油由来のPET容器の原料となる樹脂



リサイクルレジンを  
100%使ったプリフォーム

#### ■ ペットボトル製造工程のフロー



### 2. 概要

今回、豊通ベトリサイクルシステムズ株式会社（社長 小坂彦二）の滋賀県日野町に新設した飲料ボトル用リサイクルPET樹脂の製造工場が2022年10月より本格稼働し、リサイクルレジンを製造開始したことによって、当社はプリフォームに使用するリサイクルレジンを十分に調達できるようになりました。そこで、当社は湘南工場の既存のプリフォーム製造設備を使用し、リサイクルレジンを使ったプリフォーム製造を開始します。

### 3. 効果

- ・リサイクルレジンの製造工程では、バージンレジンと比べ、GHG<sup>※5</sup>排出量を50～60%削減<sup>※6</sup>可能
- ・「R100 ペットボトル」の安定した調達量の確保
- ・容器包装の自社製造による品質管理の精度向上

### 4. 今後の展開

当社は2021年より「生茶」ブランドを環境のCSV<sup>※7</sup>フラッグシップブランドと位置付け、「R100 ペットボトル」の導入拡大を行っています。本取り組みを実施することで、「R100 ペットボトル」の商品展開をさらに推進し、プラスチックに関する社会課題解決への貢献を目指します。



※5 GreenHouse Gas：温室効果ガス

※6 キリングループ環境報告書2022

※7 Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

#### （お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室  
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>

（フリーダイヤル）0120-595-955  
商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>